

品質保証研究会 第17回通常総会 議事録

[日時] : 平成19年5月30日(水) 13時30分～16時40分

[場所] : 経団連会館 10階ルビールーム

[出席者] : 41名, 委任状45名(計86名)

[配布資料]

- (1) 第17回通常総会議事次第
- (2) 平成18年度活動報告 [第1号議案-1]
- (3) 平成18年度収支計算書 [第1号議案-2-1]
- (4) 貸借対照表 [第1号議案-2-2]
- (5) 平成19年度活動計画 [第2号議案-1]
- (6) 平成19年度収支予算案 [第2号議案-2]
- (8) 役員候補者 [第3号議案]
- (9) 定例研究会平成18年度活動報告書
品質保証システムの研究「QMSの形骸化に関する研究」
- (10) 定例研究会平成17年度活動報告書
エラーマネジメントに関する調査研究「エラーマネジメントへのアプローチ」
- (11) 品質保証研究会 特別講演 【講演要旨】
- (12) QASGニュース58号
- (13) 会員名簿(総会参加者名簿及び全会員名簿)

[議 事]

1. 第17回 通常総会

- (1) 開会宣言 司会者より開会宣言があった。
- (2) 会長挨拶 班目会長より、「品質保証活動を規制に取り入れて4年が経過した。当初品質保証は規制にそぐわないとの声もあったが、原子力は市場淘汰が効かない分野であり、しっかりやっている証拠が必要であることが背景である。定着しつつあり、喜ばしい。原子力の安全の研究は、ハードのみでなく、ソフトの部分をきちんと位置づける必要がある。技術を社会に受け入れて貫うために個人および組織要因にしっかり対処していくことが何よりも大切であり、その意味から品質保証研究会への期待は大きい。」との挨拶があった。
- (3) 議長選任 会則/細則に基づき、班目会長が議長に選任された。
- (4) 議案審議 第1号議案から第3号議案まで審議され、何れも原案どおりで承認された。
- (5) 役員紹介 平成19年度役員の自己紹介による挨拶があった。
- (6) 閉会宣言 司会者より閉会宣言があった。

2. 平成18年度定例研究会活動報告

第1, 第2グループリーダーより、各定例研究会の平成18年度の活動成果につき夫々報告があった。両グループともリーダーが交代するため、新リーダーの紹介があった。

3. 特別講演

「原子力の安全・安心に必要な社会技術」と題して、堀井 秀之氏(東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授)による講演を実施した。

— 以 上 —

[承認捺印欄]

会 長	副会長	総務幹事
-----	-----	------

監 事
